

第74回和歌山県インスリン治療懇話会 開催のご案内

謹啓 時下、先生方におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
この度、第74回和歌山県インスリン治療懇話会を開催させていただき運びとなりました。
本懇話会ではできるだけ多くの医師、看護師、栄養士、薬剤師、検査技師の方々のご参加を仰ぎ、専門的な分野というよりもむしろ各施設における治療の現状、症例の検討などを話し合うことを目的としております。また、特別講演では琉球大学大学院医学研究科 内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科) 教授 益崎裕章先生よりご講演をいただく予定です。
大変ご多用とは存じますが、ご出席賜りますようお願い申し上げます。

謹白

顧問	代表世話人
和歌山ろうさい病院 南條 輝志男	和歌山県立医科大学 松岡 孝昭
当番世話人	
西和歌山病院 山本 康久	
やよいメディカルクリニック 坂頭 節哉	
世話人	
ひだか病院 太田 敬之	和歌山ろうさい病院 若崎 久生
公立那賀病院 古田 浩人	日本赤十字社和歌山医療センター 金子 至寿佳
医療法人共栄会 名手病院 池田 宜史	和歌山県立医科大学 森田 修平
公立那賀病院 中尾 大成	和歌山県立医科大学 石橋 達也
くしもと町立病院 阪本 繁	浜田メディカルクリニック 北田 宗弘
海南医療センター 喜田 洋平	済生会和歌山病院 英 肇
橋本市民病院 宮田 佳穂里	公立那賀病院 中野 好夫
和歌山ろうさい病院 中 啓吾	(※ 医師名は当番世話人順)

記

日時: 2026 年 8 月 22 日(土) 14:30~18:05
(一般演題 14:50 ~ 16:50 、 特別講演 17:00 ~ 18:00)

場所: 和歌山県民文化会館 5階 大会議室

参加費 : 500 円

【取得可能単位】

- 和歌山県医師会生涯教育講座 (3 単位)
- 日本糖尿病療養指導士認定機構の更新のための研修会 <第2群>1 単位
- 和歌山地域糖尿病療養指導士 (5 単位)
- 日本糖尿病協会「日糖協糖尿病認定医取得のための講習会」

※本年度より、上記取得単位の配布は現地会場のみとなります。オンライン参加者への配布は致しません。ご不便をおかけいたしますが、ご了承の程よろしくお願い致します。

※参加登録申込書をご参照の上、事前参加登録をお願い致します。

共催:和歌山県インスリン治療懇話会
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社
後援:和歌山県糖尿病対策委員会

プログラム

I 情報提供 14:30～14:45

ノボ ノルディスク ファーマ株式会社

II 開会の辞 14:45～14:50

西和歌山病院 院長 山本 康久 先生

III 一般演題 14:50～16:50

座長

西和歌山病院 院長 山本 康久 先生

14:50～15:10

1. 『糖尿病外来における行動変容を促す継続栄養食事指導の取り組み』

やよいメディカルクリニック

○柑本佳穂里、奥田秀美、田村晶子、橋本育代、江川公浩、坂頭節哉
和歌山県立医科大学第一内科古川安志、松岡孝昭

当院の糖尿病栄養食事指導マニュアルを用いた継続栄養食事指導を受けた糖尿病患者を対象に、行動変容の経過を後ろ向きに調査し、継続栄養食事指導における行動変容の過程を明らかにすることを目的とした。初回栄養食事指導時に実施した 5 分類 25 項目の間診票を集計し、初回の問題点の傾向を把握した。さらに、継続栄養食事指導記録をもとに、管理栄養士があらかじめ作成した 5 分類 11 項目の改善度評価基準表および行動変容ステージモデル(TTM)を用いて評価し、各項目における改善の推移、行動変容に至る時期およびその特徴を検討した。また、症例を紹介する。

15:10～15:30

2. 『【血中 LDL コレステロール値は糖尿病患者における心血管・腎・代謝 (CKM) イベントの発症に関与するか?』

独立行政法人労働者健康安全機構和歌山ろうさい病院 1 臨床検査科、2 内科

○大星隆司 1,2、味村彩美 2、丸山杏奈 2、中野雄斗 2、田村志宜 2、中尾隆太郎 2、若崎久生 2、中啓吾 2、南條輝志男 2

【目的】血中 LDL コレステロール値(LDL-C: mg/dl)が糖尿病患者における心血管・腎・代謝(CKM)イベントの発症に関与するかを検討する。

【対象】2016 年 4～6 月の当科受診糖尿病患者 1665 例。【方法】2016～21 年の CKM イベント発症を追跡し、開始時の LDL-C $\geq$ 120 以上(H: 569 例)と未満(L)で CKM イベントおよび心不全入院・認知症・老衰・老死(心/認/老)の累積発症率を log-rank 検定で比較し、開始時に両群で異なる臨床因子を共変量として、Cox 回帰モデルで発症関与因子を抽出し、関与因子の有無で心/認/老の累積発症率およびハザード比を比較した。 $p<0.05$ を有意とした。

【結果】開始時に L は H より a.65 歳以上、b.罹病 10 年以上、c.eGFR60 未満、d.進行網膜症、e.塩分制限、f.高脂血症薬および g.心血管疾患が多く、h.血中中性脂肪 150mg/dl 以上は少なかった。CKM イベントは、H/L: 49/140 で、内訳は心血管治療介入 14/43、非致死性脳卒中 16/33、非致死性心筋梗塞 1/1、下肢切断 0/2、透析 4/12、心/認/老 10/41、その他 4/8 であった。CKM イベントおよび心/認/老の累積発症率はいずれも L で H より高く($p=0.016, 0.029$)、CKM イベントでは a.65 歳以上、c.eGFR60 未満および g.心血管疾患が、心/認/老では L および b.罹病 10 年以上がそれぞれ発症に関与した。全ての関与因子(L $\wedge$ a $\wedge$ b $\wedge$ c $\wedge$ g)を有する患者の心/認/老のハザード比(95%信頼区間)は 5.2(2.1-12.7)であった。【考察】LDL-C120 未満で CKM イベント、特に心/認/老が増加する。全ての関与因子有りで心/認/老を減らすために、腎保護とともに熱量出納を正に維持する食事管理が重要である。

15:30～15:50

3.『CGM で糖代謝異常と β 細胞機能低下を早期に検出できるか :75g OGTT・インスリン分泌指標との相関分析』

1)和歌山県立医科大学病態栄養治療部 2)和歌山県立医科大学内科学第一講座
3)和歌山県立医科大学臨床検査医学

○石橋達也¹⁾²⁾阿部知久²⁾渕一磨²⁾和田冴生²⁾中野雄斗²⁾永野理紗²⁾岩橋真子²⁾
北将典²⁾西伸幸²⁾上野山仁美²⁾北原千愛³⁾²⁾中尾友美²⁾下直樹²⁾竹島健²⁾古川安志²⁾
森田修平²⁾松岡孝昭²⁾¹⁾

【目的】日常生活下の CGM 指標が、糖代謝異常の検出と β 細胞機能評価にどの程度有用かを検証した。

【方法】健診で糖代謝異常を疑われた糖尿病未診断の 22 名にリブレ 2 を 14 日間装着し、75g OGTT およびインスリン分泌指標と比較した。

【結果】時間内血糖範囲(TIR)は耐糖能異常のスクリーニングに優れ、HbA1c が正常でも異常を検出できた。血糖変動の指標である%CV はインスリン初期分泌と、平均血糖値は β 細胞の代償能力とそれぞれ対応しており、%CV $\geq$ 22.4%は初期分泌不全を高確率で同定した。

【結語】CGM の標準指標を組み合わせることで、HbA1c 正常域の段階から介入が必要な対象者を絞り込める可能性があり、多職種による早期支援につながるツールとして期待される。

座長

やよいメディカルクリニック 院長 坂頭 節哉先生

15:50～16:20

4.『インスリン自己管理が困難な患者に対しインスリンイコデクを導入した事例』

1)日本赤十字社和歌山医療センター 看護部

2)日本赤十字社和歌山医療センター 糖尿病内分泌内科

○平石桂子¹⁾ 小倉彩菜¹⁾ 川俣美智子¹⁾ 廣島知直²⁾ 金子至寿佳²⁾

インスリン自己管理が困難な患者に対し、週1製剤であるアウイクリを導入した。管理の簡便化により安全な自己注射継続が可能となった症例を報告する。

16:20～16:50

5.『医療者の関わり方でダイアベティスをお持ちの方の未来が変わる～

コーチング的コミュニケーションの有用性～』

医療法人良友会西和歌山病院 内科・糖尿病内科 ○山本康久、中尾隆太郎、久保一紀
栄養科 市川絢子、吉宮由夏

普段の臨床現場では、医療者は「今日から正しい食事・運動療法をしましょう」と、正しい医療知識を伝えて患者さんの行動変容を求めるが、思ったような行動変容に導けない事をよく経験する。そこで医療者の関わり方を患者さん目線に変えることで、患者さんが納得して行動変容される事を多く経験してきた。2026年4月に出版された書籍「糖尿病診療の活かすコーチング～なぜそとき行動変容が起こったのか？～」の共同執筆者として、詳しく紹介させていただきます。

-休憩-

IV 特別講演 17:00~18:00

座長 和歌山ろうさい病院 病院長 南條 輝志男 先生

『 糖尿病予防・治療をめぐる食事療法の新展開
～鍵を握る脳と腸の機能連関～ 』

琉球大学大学院医学研究科
内分泌代謝・血液・膠原病内科学講座(第二内科)
教授 益崎裕章先生

近年、糖尿病や肥満症に影響する食成分のエビデンスが蓄積し、表示カロリーと血糖や体重変化が一致しない例も多い。本講演では脳腸関連に着目し、食事療法とインクレチン薬の機序を踏まえ、実臨床で有用な治療戦略を考察する。

V 閉会の辞 18:00～18:05

公立那賀病院 院長 古田 浩人 先生

第74回和歌山県インスリン治療懇話会 事前参加申込書

【参加申込み方法】

下記二次元コードにてお申込み下さい。

(入力項目:施設名、ご所属、氏名、メールアドレスなど)

【申込み二次元コード・リンク】



<https://x.gd/pEi68>

【取得可能単位】

※ 会場参加いただいた方のみ取得いただけます。
オンライン参加者への配布は致しません。ご不便をおかけいたしますが、
ご了承の程よろしくお願いいたします。

- 和歌山県医師会生涯教育講座(3単位)
- 日本糖尿病協会「日糖協糖尿病認定医取得のための講習会」
- 日本糖尿病療養指導士 <第2群> (1単位)
- 和歌山地域糖尿病療養指導士(5 単位)

登録にご記入いただいた個人情報は、次の目的のために使用いたします。

【利用目的】①出の確認②経理処理などの事務手続き

視聴登録へのご記入内容は、弊社で責任をもって安全に管理するとともに、上記目的に照らして不要となった場合には適切に廃棄させていただきます。

【お問い合わせ先】

ノボルディスクファーマ株式会社 担当:高島 幸宏

メール: ytab@novonordisk.com